

「木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会」会議録

1. 日 時 令和4年5月17日(火) 13時30分～14時35分
2. 会 場 木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室
3. 議 事 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の
検証について
 - I. 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証
 - II. 基本目標ごとの検証
 - III. 地域再生計画認定事業に係る令和3年度の実施効果検証について
4. 出席者 市 側) 渡辺市長、石井企画部長
渡辺次長、水谷課長、山口主幹、佐久間係長、千代倉主事
鶴岡課長(シティプロモーション課)、大岩課長(危機管理課)、
小磯課長(資産管理課)、佐川課長補佐(オーガニックシティ推進課)、
松下課長(地域政策課)、宗政課長(市民活動支援課)、
草苺課長(子育て支援課)、石渡課長(こども保育課)、
松吉課長(農林水産課)、伊藤課長(産業振興課)、
鈴木課長(観光振興課)
委員側) 鈴木克己委員、鶴岡委員、笹生委員、鈴木ひろ子委員、井上委員、
栗本委員、大倉委員、和久委員、鳶田委員、国分委員、清水委員、
滝口委員、平野委員

1. 開会

司 会： それでは、定刻となりましたので、ただ今より「木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会」を開会させていただきます。

私は本日、司会進行を務めます企画課長の水谷でございます。

よろしくお願いいたします。

まず、会議の開催に際しまして、木更津市長から挨拶を申し上げます。

2. 市長挨拶

市 長： 皆さん、こんにちは。

市長の渡辺でございます。

本日は、ご多用のところ、「木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様には、本懇談会へのご参画をお願い申し上げたところ、快くお引き受けいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、「第2期木更津市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、将来にわたって活力あふれる持続可能なまちの創造に向けて、地域一体となって取組を進めるため、令和2年3月に策定いたしました。

計画期間中は、毎年度、施策等成果の客観的な検証や見直しを行っているところでございます。

本懇談会は、総合戦略の客観的な検証にあたり、「産業・行政・教育・金融・労働・言論」といった各界の皆様から、幅広くご意見をお聴きし、ご支援をいただきながら効果的に推進するために開催するものでございます。

本日は、第2期総合戦略における令和3年度の実施結果等について、ご審議いただきたいと思います。

委員の皆様におかれましては、ぜひ忌憚のないご意見、ご提言をお聴かせいただき、地方創生を着実に推進するため、お力添え賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本懇談会の座長には、木更津商工会議所の鈴木会頭をご指名させていただきます。

鈴木会頭には、議事進行についてお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

司 会： ありがとうございます。

ただいま、市長から座長に指名させていただきました木更津商工会議所の鈴木会頭より、ご挨拶を頂戴したいと存じます。

それでは、よろしくお願いいたします。

座 長： 皆さんこんにちは。

ただ今、渡辺市長より、座長にこのご指名を受けました、木更津商工会議所の鈴木でございます。

皆様方のご協力を得ながら、会議を進めさせていただきたいと思っております。

個人的には、この木更津というまちは、良い方向に、先に先に進んでいるのではないかなと思っています。

商工会議所関連でお話をさせていただければ、パークベイプロジェクトの推進で、鳥居崎海浜公園にレストラン等ができました。

これは、まず第1弾でありまして、その後も、港の開発はさらに進んでいると思います。

駅前の新庁舎も3年後くらいにはできるというお話です。

富士見通りのパークベイの整備も進んでいます。

私がJ Cの時にみんなでやろうと思っていたものが、やっと、30年後くらい

にこうして形になってきています。

とても素晴らしいことだと思います。

アクアコインについても、数値的には目標には届いていませんが、取扱高、売上高は、毎年きちっと伸びています。

また、「らぶーBiz」という木更津市産業創業支援センターも、全国的にもレベルが非常に高い位置にあります。

もうひとつ言わせていただければ、商工会議所の中小企業相談所という相談所も、県下1、2位を争うレベルになっております。

この地域の相談実績は非常に伸びているなど感じております。

そういう中で、各界それぞれのお立場から、ご意見を伺えればと思います。

本日は、第2期総合戦略における令和3年度の実施について、検証していこうということでございます。

懇談会でありますので、ぜひ、忌憚のないご意見をたくさんいただき、今後の実施につながる有意義な会議となりますようご協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

司 会： ありがとうございます。

それでは、ここで、今年度から 新たにご参画いただいた方もいらっしゃいますので、委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと存じます。

お手元の委員名簿をご覧くださいませようお願いいたします。

根本委員と濱寄委員におかれましては、本日欠席の旨、ご連絡をいただいております。

(委員名簿に沿って紹介)

続きまして、市の事務局職員を紹介いたします。

(事務局職員紹介)

なお、本日は、各施策の担当課として、シティプロモーション課、危機管理課、資産管理課、オーガニックシティ推進課、地域政策課、市民活動支援課、子育て支援課、こども保育課、農林水産課、産業振興課、観光振興課の各課長が出席しております。

それでは、議事に入る前に配付資料の確認をさせていただきたいと存じます。

本日の配付資料といたしまして、会議次第、委員名簿、座席表、木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会について、資料といたしましては全47ページの『第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について』でございます。

資料に落丁等ございましたら、事務局までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご発言の際は、挙手のうえ、お手元のマイクのボタンを押していただき、

終わりましたら、もう一度マイクのボタンを押していただきますようお願いいたします。

それでは、早速、議事に入りたいと存じます。

議事につきましては、鈴木座長にお願いしたいと存じます。

それでは、鈴木座長、よろしくお願いいたします。

3. 議事

①第2期木更津市まち・ひと・しごと総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証について

座長： それでは、早速、議事に入らせていただきます。

まず、議事の「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証について」のうち、Ⅰの「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証」及びⅡの「基本目標ごとの検証」を一括して議題に供します。事務局から説明を求めます。

事務局： （資料「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証について」に基づき、説明）

座長： ただいまの事務局の説明に対しまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

井上委員： 君津地域振興事務所の井上です。

先立、知事が木更津市を訪問しまして、市長さんと意見交換をさせてもらったときに、基本目標3「自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する」の、街なか居住マンションの建設への補助や取得助成について、県下でもめずらしいということで、取組について非常に感心しておられました。参考までに、その内容について教えていただけますでしょうか。

事務局： 補助金については2種類、建設補助と居住補助というものがございます。

まず、建設補助事業についてご説明させていただきますと、コンパクトなまちづくりを目指して、駅周辺において、市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するため、土地の利用の共同化、高度化及び定住促進に寄与する事業を施行する者に対し、補助金を交付するものでございます。

地権者等による計画調整の円滑な推進を誘導して、中心市街地における良好な市街地環境の形成と良質な市街地住宅の供給促進が図られ、さらには、移住定住や、活気あるまちづくりに繋がることも期待できるという事業でございます。

補助金の金額でございますが、国の社会資本整備総合交付金というものを活用いたしまして、補助対象経費の3分の2以内の額ということです。対象経費とすれば、調査設計計画費や土地整備費、道路施設整備費といったものでございます。

これまで、この事業でございますけれども、29年度から、補助金を支出してございます。

建物は、富士見2丁目に1棟、木更津1丁目に1棟、中央3丁目に1棟、今年度、中央3丁目にまた別の1棟、という予定でございます。補助金の金額でございますが、富士見2丁目は総事業費が23億円あり補助金は3億2,000万円、木更津1丁目につきましては15億円の総事業費に対しまして補助金は1億2,000万円、中央3丁目のこれまで支出したのに関しましては総事業費21億7,000万円に対しまして4億4,000万円の補助金を出しております。

今年度から出す予定の中央3丁目の物件については29億円の総事業費の予定でございます。補助金は1億3,000万円の予定になっております。

この補助金を使って建てられたマンションに対しまして、そのマンションに居住される方、取得される方に対して、補助金、助成金を交付するのが、街なか居住マンション取得助成ということです。

こちらはマンションを建設して竣工して、入居できるという状況になりますので、令和2年度から補助金を出しております。

こちらは、補助金の上限がありまして、1戸あたり50万円。2年度から開始しまして、97戸に50万円、4,850万円出しております。

令和3年度はなかったんですけれども、今年度予定してますのが75戸ございますので、最大50万円としまして、3,750万円の予算を確保しております。

マンションの立地に関しましては、市の中心市街地活性化基本計画に位置付けられましたエリア内に建設されたマンションという条件がございます。

これによりまして、この間はPowerPointでご説明申し上げたとおり、中心市街地にお住まいになられてる人口も、増加に転じていると考えております。

説明は以上でございます。

井上委員： 5ページの、令和3年度実績が目標値を達成した指標で、「公民館での地域課題に関する講座の参加者数」が900人から1,800人と倍増しておりますけれども、こちらを増やした根拠等ありましたら教えてください。

事務局： こちらについては、昨年度の実績が1,701人でありました。

今後も地域の現状や課題を把握して、住民とのかかわりの中でテーマを設定し、地域課題の解決に向けた講座に取り組んでいくこととなりますが、令和3年

度の実績を踏まえ、1,800人ということで新しく目標を設定いたしました。

井上委員： 実績が著しく伸びた原因は、何かあったのでしょうか。

事務局： 令和2年度は、やはり新型コロナウイルス感染症の影響下ということで公民館の活動が停止していたこともありますので、令和3年度については、感染症の対策を講じたうえでセミナーを開催することができましたので、大きく参加者数が伸びたと伺っています。

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響下ということで見通しはわからないというところもありますけれども、前年度を上回る参加者を公民館のほうでも見込むということですので、1,800人という目標数値を設定させていただきました。

以上でございます。

井上委員： わかりました。オンラインなど、さまざまな取組があると思うので、引き続き頑張ってください。

座長： 他にご質問等ございましたらお願いいたします。

国分委員： 19ページの「らぶ - B i z」の支援を受けて新規創業した件数のところで、木更津創業塾への参加者も68名と非常に増えてきているということで、非常に喜ばしいことだと思っているんですけども、こういった業種での創業を目指しているのかとか、こういった方が参加されているのかという、その辺のことは絞られておりますでしょうか。

伊藤課長： 産業振興課の伊藤と申します。

よろしくお願いたします。

まず、令和3年度の実績は7件でございますが、その内訳は、ネイルサロン、飲食業、映画の企画撮影編集会社、自動車小売業などがありまして、合計7店が新たに「らぶ - B i z」の支援を受けまして新規創業いたしました。

実際には、60人以上の方が新規に創業したいということで「らぶ - B i z」のほうに相談に来ていただきまして、飲食系に新たにチャレンジしたいという方も結構多いということをお伺いしております。

ただ、実際の創業にありつかなかったのは、やはり、新型コロナウイルス感染症の影響があったのではないかと伺っております。

以上でございます。

国分委員： ありがとうございます。

今後、例えば業種を絞って、また、何か対策等していくのもよいのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。

もう一点、26 ページの空家対策について、今、木更津市も人口流入が増えてきているということもあって、その流れに沿って、非常に良い取組だと思っておりますが、今後、「市民に対して広報紙等様々な媒体で」と検討されているようですが、市内以外、例えば川崎などアクアラインの向こう側へ向けての広報は考えていらっしゃるのでしょうか。

事務局： 担当課に確認をし、後日回答させていただきます。

国分委員： 弊社（ジェイコム）もアクアラインの向こう側に向けておりますので、何か協力させていただければと思います。

事務局： 【※後日、メールにて回答】

今後、市内のみならず市外（川崎などの対岸）への周知も考えているのかとのご質問ですが、現在、木更津市のホームページのみならず、木更津市の空家バンクに登録されている物件を全国版の空家バンクに掲載するなど、全国から木更津市の空家バンクの情報が容易に得られるように取り組んでいるところでございます。

また、昨年度は、本市と住宅金融支援機構が連携し、JR 東京駅において、住宅金融支援機構の金融商品と木更津市の空家バンクの情報に繋がる内容について、デジタルサイネージを活用した広告を行うなどの取組みを行ったところでございます。

今後も、木更津市の空家バンク制度については、他の広告機関等を活用するなど、市内のみならず市外の方へも周知を図ってまいりたいと考えております。

座長： 他にございましたらお願いいたします。

ないようでしたら、最後に、その他ということで、全体的に意見を述べる機会もございますので、この議題についてはここで閉めさせていただきます。

それでは、次に、それでは次に、Ⅲの地域再生計画認定事業に係る令和3年度の実施効果検証についてを議題に供させていただきます。

まず、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（資料「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度取組結果の検証について」に基づき、説明）

座長：ありがとうございます。
それでは、皆様、質問等ございましたら伺います。

井上委員：「アクアコイン」の行政ポイント付与事業について、健康関係の事業と、市民活動の支援に使われたということで、行政活動への市民の参加を促すものかと思うのですが、他県の事例では、静岡県の西伊豆町というところでは、釣り客が釣った魚を自治体が地域通貨で買い取るというような事業をやっていて、釣り客の多くはその地域通貨で食事をして帰るということで、外からくる人が市内でお金を使うという仕組みの中に地域通貨を使うような、そんな取組を検討していただけたらなと思ひまして、意見として発言させていただきました。
以上です。

座長：ぜひ参考にさせていただけたらと思います。
他に何かございますか。
それでは、ないようですので、皆様からご頂戴した意見を踏まえ、総合戦略の着実な推進を進めていただきたいと思います。
最後に、本日の議事、全てを含め、改めまして何かご意見、ご質問等ある方はお願いいたします。

清水委員：市長がおいでになっているということで、ちょっと伺いたいのですが、今年は市制80周年、そして、市長自身も3期目で新たな節目の年かと思ひます。
そういった意味で、市長の今後の木更津市への抱負というか、意気込みを聞かせていただければと思うのですが。

渡辺市長：どうもありがとうございます。
3期目、3月31日からですけれども、これまで2期8年やってきて、市長に就任した当時は人口の偏在というのが一番あって、請西地区の新市街地への流入が顕著で、小学校が新築されました。
金田地区の人口増加も著しかった一方で、街なかとか農村部の人口は減ってきていたという状況があって、その当時、地方創生も含めて地域全体、市内全体がバランス良く死角がないまちづくりをしたいということでスタートしました。
中郷地区の小学校であったり、富来田地区の道の駅であったり、民間にお手伝い、進出をしていただきながらこれまで来たんですけれども、一方で、地域自治会にはまちづくり協議会を作っていただきながら、市職員も地区担当職員制度というものを創設させていただいて、それぞれの地域が少しずつでありますけ

れども、元気になってきたのかなと。

これからの4年間については、特に、今まで仮庁舎を街なかに持ってきて、仮庁舎ということでやってきたものを、改めて中心市街地の活性化に取り組みたいと思っているところです。

その中で、先ほど鈴木会頭からもお話がありましたように、港のパークベイプロジェクトの取組の一つである鳥居崎海浜公園ができて、これから駅前庁舎と朝日庁舎も民間に建ててもらって借りて入っていくという庁舎整備がこの3年行われます。

また、中規模ホールについても吾妻公園に建設する方向で進んでいて、富士見通りも5年で計画、最後に仕上げるということで、この街なかで使われるお金自体も増えていくという状況の中で、木更津らしい居心地の良さを追求しながらまちづくりを進めていきたいと思っています。

その根本には、オーガニックという言葉を使わせていただいているんですけども、都内からこの距離間の中で、干潟を中心に素晴らしい自然が残っているという地域環境を活かしながら、また、地域全体、皆さんと一緒に資源を共有しながら進んでいきたいと思っています。

その中で、今年は80周年を迎えさせていただいておりますので、そういった木更津市の方向性を市民の皆様と共有しながら、新たなスタートとなる年にしていきたいと思っています。

80周年の事業についても、今、いろいろ計画をしているところでありますけれども、スポーツや子ども達のアート、ファッションショー、また文化についても今仕込んでいっているものがございまして、ぜひ、皆さんに木更津の良さを体感してもらって、方向を一緒に見ていただけるような一年にできればと思っています。

座長： ありがとうございます。
他にございましたら、お願いします。

4. その他

司会： 事務局から、総合計画と総合戦略の一体化についてご説明いたします。

まず、総合計画とは、市町村における最上位の行政計画であり、まちづくりの大きな方向性を位置付ける計画となっております。すべての行政施策はこの総合計画に基づいて推進されており、令和4年度は総合計画の策定年度にあたります。

一方、総合戦略は、総合計画に定められる事業の中から地方創生に資する事業を抽出するような形で策定しており、こちらも令和4年度が策定年度にあたります。

総合戦略が目指す、人口減少・少子高齢化問題、若い世代の就労・結婚・子育て支援の充実、地域特性に即した地域課題の解決などは、本市総合計画における将来都市像を実現するための政策にも含まれており、双方の計画において共通の課題を有しており、両計画の関係から本市総合戦略が対象とする取組の方針は、総合計画において内包されているものと考えられます。

以上のことから、次期総合戦略を策定するにあたっては、本市の総合戦略の内容がほぼ網羅されていること、また、令和4年度が次期総合計画の策定年度でもあることから次期基本計画と次期総合戦略を一体化して策定することとします。

木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会については、専門的、総合的な立場からご意見をいただき地域一体となって効果的に地方創生を推進する必要があることから、第2期総合戦略の計画最終年度である令和4年度の取組結果の検証と地域再生計画事業に係る効果検証について、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

今後は、総合計画と総合戦略を一体化して策定するため「木更津市総合計画審議会」で計画策定のご審議をお願いしたいと考えており、委員の構成につきましては、計画審議会委員と懇談会委員の所属団体のご参画を検討させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

事務局： 今日お集りになられた方々に関しましては、第2期総合戦略の進行管理でお集まりいただいております。

今年度までが第2期の計画期間でございますので、また来年この時期にお集まりいただくということにはなりますが、第3期が来年度から始まりますので、その時は、総合計画審議会というものを窓口として検証していくというような形を取らせていただきたいと思いますと思っております。

渡辺市長： いつどのタイミングで皆様にお越しいただくかというのは、今年度と、来年度同じ時期にお集まりいただくということか。総合戦略についてはどのように関わっていくのか。

事務局： まだ検討段階ではあるんですけれども、（総合計画策定の委員と総合計画策定の委員を）うまく融合していきたいと考えています。

同じ団体で同じ方がそれぞれの構成委員さんになられているというケースもあります。

渡辺市長： その形は検討中だけれども、今年の総合計画策定の中でも、皆様においていた

だく場面を作っていきたいということですね。

事務局： はい。

そのように、工夫を重ねていきたいと思っています。

座長： 令和4年度の検討するための来年の会議はあるということですね。

事務局： はい。

これはまだ踏襲するような形で存在します。

ですので、ややこしいんですけども、令和4年度に開催するものから一緒にしていきたいという方向性で考えています。

5. 閉会

司会： それでは以上をもちまして木更津市まちひとしごと創生懇談会を終了させていただきます。

ありがとうございました。